

令和5年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①ひらがな、かたかなに親しみ、読み書きすること。 ②音読を通して、内容の理解を深めること。 ③順序に気を付けながら、内容の大体を読み取ること。	①言葉のおもしろさを楽しむ活動を通して、文字を覚え、読む力、書く力を育てる。 ②一斉音読や、お話の音読劇、音読発表会などの活動を通して音読の力を付け、内容の理解を深める。 ③主語、述語、事柄や時間的な順序を表す言葉などに着目することを通して、内容の大体を読み取る力を付ける。		
算数	①加法・減法を正確に計算すること。 ②数の概念について理解すること。 ③立体や図形について、特徴を捉えたり弁別をしたりすること。	①加法・減法の習熟を図るとともに、具体物やブロック等を使い、体験活動、操作活動を通して、数の数え方や計算の仕方を考える力を育てる。 ②数量感覚を育むために、数の分配や数直線などを用い、多様な表し方ができるよう指導する。 ③具体物を用いて形や面の特徴を捉えさせ、形についての理解を深める。		
生活	①人や自然と関わる活動の中で体験し学んだことを、自分の生活にも取り入れようとする。こと。 ②観察する視点をもって記録し、違いや特徴を見付けること。	①学校周辺の身近な自然に触れたり、身近な人々と主体的に交流したりすることを積極的に取り入れ、児童がもつ本来の興味・関心を引き出し、主体的に取り組む態度を育てるようにする。 ②観察したことを記録する際、「大きさ」「色」「形」「数」「匂い」「触った感じ」などの観察の観点を明確にさせる。活動の内容を精選し、児童が物事に対して、関連付けて見たり、考えたりできるような視点を授業の中で与えていく。		
音楽	①楽しく音楽に関わり、音楽に対する興味・関心をもつこと。 ②音楽表現をするための基礎的な技能を身に付けること。	①楽曲の気分全体に体全体で反応するなど、児童が夢中になって取り組むことができるような活動を工夫する。その際、児童の自然な表現を受け止め、そのよさを伸ばしていく。 ②鍵盤ハーモニカやタンバリン、カスタネットなどの身近な楽器に触れさせ、音色や響きを楽しみながら、基礎的な技能を身に付けられるようにする。		
図画工作	①はさみやのりの使い方、紙を折るなど、指先を使った作業をすること。	①制作の手順を分かりやすく表示したり、道具の使い方を見せたりすることで、基本的な技能を身に付けさせる。また、指先を使った作業を日常からたくさん取り入れることで、徐々に指先を上手に使えるようにさせる。		
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分に合った運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択すること。	①ICT 機器を有効に活用し、映像でお手本の動きを何度も視聴するなど、体のイメージをつかみやすくする。コーディネーショントレーニングの運動を継続的に行う。 ②段階的に技能を習得できる場を設け、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。